

農 業

本市の農業は、九頭竜、足羽、日野の三大河川流域を中心とした水稲単作で、越前の米どころとして長い歴史をもち、地域特性を生かした農業等が営まれている。農地の約95%を水田が占めているが、近年の米の需要低下、米価の低迷により、水稲+大麦+大豆、そばの2年3作や水稲にキャベツやネギなどの園芸作物を組み合わせた水稲と園芸の複合経営が進んでいる。また、高齢化の影響により農家戸数、就業人口は減少しているものの、集落営農組織の法人化や、農地中間管理事業の推進等により、農地の集積は進んできている。

1 県農業に占める本市農業

(1) 農家戸数

(2020年農林業センサス・2020年国勢調査)

区 分	総世帯数	農家戸数	販売農家
県	戸 291,662	戸 16,058	戸 9,777
市	104,470	3,387	2,179
市/県 (%)	35.8	21.1	22.3

(2) 耕地面積

(北陸農林水産統計年報：令和4年耕地面積調査)

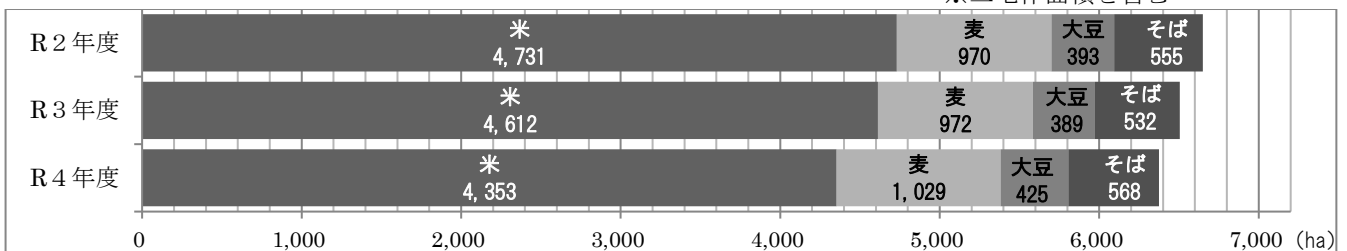
区 分	田畑	田	畑
県	39,700 ha	36,100 ha	3,670 ha
市	7,750 ha	7,350 ha	396 ha
市/県 (%)	19.5	20.4	10.8

2 農産物作付面積

(農政企画課)

区 分	作付面積		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
米	4,731 ha	4,612 ha	4,353 ha
麦	970 ha	972 ha	1,029 ha
大豆	393 ha	389 ha	425 ha
そば	555 ha	532 ha	568 ha

※二毛作面積を含む



3 中山間地域等対策

中山間地域は、まとまった平坦な耕地が少なく農業生産条件が不利な地域である一方、農業生産活動の営みは、多様な農林水産物を供給するとともに、水資源の涵養や洪水の防止など公益的な役割を果たしている。

本市における中山間地域（特定農山村地域）は16地区（152集落）で、高齢化や過疎化、担い手不足が進む中、生産・生活条件の改善と多面的機能の維持増進をめざし、各種の活性化策を講じており、中山間地域等における適切な農業生産活動の継続と多面的機能の確保を図るための施策として、中山間地域等直接支払制度を実施している。

<中山間地域等直接支払制度実績>

年 度	協定締結集落	対象面積 (ha)	交付金額 (円)
R2	46集落	321.3	52,886,325
R3	46集落	322.0	53,021,670
R4	46集落	321.9	53,461,642

4 家畜家きん飼養頭羽数

(農政企画課)

調 査 年 月 日	乳 用 牛			肉 用 牛							豚		採卵鶏		ブロイラー	
	飼 養 戸 数	飼養頭数		飼 養 戸 数	飼 養 頭 数						飼 養 戸 数	飼 養 頭 数	飼 養 戸 数	飼 養 羽 数	飼 養 戸 数	飼 養 羽 数
		総 数	左 経 の 産 内 牛		繁 殖 牛	仔 牛	小 計	肥 育 牛								
								肉 専 用 種	交 雑 種	小 計						
R3. 3. 31	2	102	97	5	15	2	17	16	222	238	0	0	4	6,270	1	23,300
R4. 3. 31	3	131	122	4	13	4	17	8	225	233	0	0	5	7,230	1	23,700
R5. 3. 31	3	143	136	4	14	1	15	11	207	218	0	0	5	6,920	1	24,200

林 業

本市の森林面積は31,943haで全面積の59.5%を占め、林業生産の重要な基盤であるとともに、国土の保全及び水資源の確保、さらには市民の保健休養の場としての役割も極めて大きいものがある。

しかしながら社会経済情勢の変化に伴い、山村地域の過疎化及び国産材の価格の低迷等、森林、林業には非常に厳しい現況となっている。

そのため、今日では、木材生産を主体としたものから、水源かん養・土砂流出の防止・二酸化炭素の吸収等、森林の多面的機能の持続的な発揮を目的とした適正な森林の管理が必要となっている。

1 森 林 面 積

(単位：ha)

区 分	民 有 林			国 有 林		合 計
	公 有 林	私 有 林	小 計	官行造林	林野庁所管外	
面 積	1,530	30,305	31,834	57	52	31,943
人 工 林	1,141	18,213	19,353	45	27	19,425
人 工 林 率	74.5%	60.1%	60.8%	78.9%	51.9%	60.8%

(注) 合計と内訳が一致しないのは四捨五入によるものである。

(令和3年度福井県林業統計書抜粋)

2 林 道

(1) 林道網整備計画

(越前地域森林計画書 R3.4.1～R13.3.31)

幅 員	1.8m～3.0 m	3.0m～4.0 m	5.0 m～	計
路 線 数	35	30	2	67
計 画 延 長	17,774 m	31,168 m	2,090 m	51,032 m

(2) 既設林道の状況

(令和5年3月31日 現在)

軽 車 道	46,556m	65路線
自 動 車 道	353,277m	194路線
計	399,833m	259路線

(3) 林道による森林保全計画

(令和2年12月現在)

区 分	計 画 面 積	蓄 積
林 道 に よ る 保 全	5127.02 ha	1,540,690 m ³

3 林産物生産状況

(1) 特 用 林 産 物

き の こ 類 (kg)						樹 実 類 (kg)		木 炭 (kg)	木 酢 液 (ℓ)	山 菜 ・ 薬 草 類 (kg)		
乾しいたけ	生しいたけ	なめこ	えのきたけ	まいたけ	ひらたけしめじ	柴 栗	栽 培 栗			わらび	ぜんまい	おうれん
183	10,949	—	92,029	100	6,555	—	—	8,513	200	—	—	—

(令和3年度福井県林業統計書抜粋)

4 保安林面積

(単位：ha)

水源 かん養	土砂流出 防備	土砂崩壊 防備	潮害 防備	干害 防備	なだれ 防止	落石 防止	魚つき	保健	風致	合計
4,383	690	68	33	26	278	—	9	111	1	5,598

(令和3年度福井県林業統計書抜粋)

5 造林事業

福井市公団造林及び市有林の実施概要

単位：ha (令和3年3月31日現在)

地係	鮎川	国見	国見元	五太子	二ッ屋	国山	鷹巣	奥平	西大味	東郷	大丹生	四の谷	上一光	横谷
総面積	35.36	63.30	43.97	95.99	51.36	8.63	162.08	24.84	1.81	6.10	1.22	44.92	2.01	3.45
造林面積	33.75	56.39	36.33	63.40	41.04	8.60	92.59	20.00	1.00	3.82	1.22	28.40	1.10	2.20

地係	河内	仁位	合計
総面積	6.40	4.97	556.89
造林面積	6.40	4.97	401.21

6 森林公園 (キャンプ・バーベキュー施設等)

木ごろの森

樹木とふれあい自然の豊かさを体感できる森林公園である。散策道では、森林浴で癒されながら、クイズラリーを楽しむことができ、家族や友人で森林の多面的な役割への理解を深めることができる。

施設概要

・広場エリア

- ①多目的広場 940㎡ (ウッドデッキ)
- ②芝生広場 2,290㎡
- ③あずまや 1棟
- ④屋外便所 1棟
- ⑤駐車場 普通車27台 (内障がい者用2台) 大型バス1台

・里山エリア

- ①遊歩場 724m
- ②散策道 608m

清水きららの森～おばやま自然公園～

遠足や自然学習の場として自然とふれあえ、子ども連れの家族が森の中で遊べる公園。冒険の広場には複合遊具などがあり、野鳥の森、昆虫の森は、企業と連携して野鳥、昆虫の集まる樹木を植栽している。

施設概要

①冒険の広場	5,260 m ²
(複合遊具を含む。)	
②野鳥の森	5,250 m ²
③昆虫の森	4,040 m ²
④展望台	1棟
⑤あずまや	1棟
⑥遊歩道	350.00m
⑦屋外便所	35.41 m ² (木造)
⑧駐車場	普通車 39 台 (内身障者用 1 台) 大型バス 1 台

水 産

本市の海岸線は日本海特有の地勢急峻で漁業活動に適さない地形であったことから、漁港整備を進めてきた。主要漁業は、定置網漁業、底曳網漁業であるが、いか釣、刺網、底曳網、一本釣、はえ縄、採貝採藻漁業も営まれている。令和4年の属人生産量は、599 tとなっている。漁船数は3t未満 175隻、3～5t 41隻、5～10t 15隻、10～20t 12隻、総数243隻（R5.3.31）であり、日本海中部の玄達瀬、松出し瀬付近で操業している。現在、老朽化が進んだ漁港施設の改修を計画的に実施するとともに、ヒラメ、アワビ等の稚魚稚貝の放流、海底耕うんによる漁場環境改善等の取組を支援することで、水産資源の保全を図っている。

1 漁 港 施 設（市管理）

（令和4年3月31日現在）

漁 港 名	白浜（国見）	長橋菅生	鮎 川	大丹生	大 味	居 倉	
種 別	第 2 種	第 1 種	第 1 種	第 1 種	第 1 種	第 1 種	
外 郭 施 設	防 波 堤	424.9 m	613.9 m	267.5 m	394.4 m	69.3 m	318.8 m
	防砂堤・突堤	10.0 m	34.2 m	49.9 m	—	58.0 m	—
	護 岸	290.5 m	1108.7m	197.4 m	957.7 m	133.2 m	557.1 m
係 留 施 設	物 揚 場	217.9 m	192.0 m	128.0 m	126.0 m	—	51.0 m
	船 揚 場	125.1 m	226.1 m	103.9 m	190.8 m	30.8 m	111.7 m
航 行 補 助 施 設 水 域 施 設 輸 送 施 設	灯 台	1 基	1 基	—	—	—	—
	泊 地	9,100 m ²	18,392 m ²	8,063 m ²	9,232 m ²	3,592 m ²	1,470 m ²
	航 路	3,300 m ²	—	—	—	—	—
漁 獲 物 施 設 及 び 保 存 加 工 施 設	道 路	201.8 m	264.0 m	29.1 m	111.9 m	170.0 m	—
	冷 蔵 庫	1 棟	—	—	—	—	—
	荷さばき所	1 棟	1 棟	—	—	—	—

2 稚 魚 の 放 流

水産資源の確保を図るため、ヒラメ・アワビの中間育成・放流、及びマダイ・サザエの放流を行っている。

魚 種 名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ヒ ラ メ	45,000尾	45,000尾	36,000尾	36,000尾	36,000尾
ア ワ ビ	21,000個	15,900個	22,800個	14,000個	17,500個
マ ダ イ	10,000尾	10,000尾	10,000尾	10,000尾	10,000尾
サ ザ エ	—	—	—	10,000個	—

3 海岸保全施設

(令和4年3月31日現在)

漁港名	白浜(国見)	菅生	鮎川	大丹生	大味	居倉
海岸保全区域延長	148.0m	592.0m	390.0m	489.0m	390.0m	446.0m
護岸	158.0m	592.2m	101.0m	442.0m	113.2m	490.1m
消波堤	20.0m	93.8m	—	—	—	84.0m
離岸堤	—	—	127.1m	219.6m	135.0m	—

4 漁業協同組合

漁業協同組合は、共済、購買、販売、利用、指導等の各事業を営み、漁業者の経済的、社会的地位の向上を図っている。

(令和4年12月31日現在)

区分	福井市漁業協同組合	越廼漁業協同組合
設立年月日	昭和46年4月1日	昭和38年6月1日
組合員数	897人	211人
出資金	65,334,000円	22,125,000円
役員数	12人	7人

土地改良

1 土地改良施設

(1) 農業排水(施設)

(令和5年4月1日現在)

区分	施設の個所数			
	排機	樋門	樋管	計
河川に排水される農業排水	17	184	94	295

(2) 農業用道路

(令和5年4月1日現在)

全延長	801 km
舗装延長	304 km
舗装率	38.0 %

(3) ほ場整備状況

(令和2年度末現在)

整備対象水田面積	7,577.4ha
一次整備済	6,306.2ha (83.2%)
大規模ほ場整備済	754.1ha (10.0%)

(4) 集落排水処理施設

(令和5年4月1日現在)

区 分	施 設 数	備 考
集落排水処理施設	27	農業集落排水処理施設、林業集落排水処理施設、漁業集落排水処理施設、小規模集合排水処理施設

2 農業農村整備事業**(1) 市単事業**

(令和4年度)

事業内容	用排水施設整備	ほ場整備	農道整備	ため池整備	災害復旧
件数	48	1	25	1	137
市負担額	31,741千円	190千円	22,835千円	427千円	219,795千円

(2) 県単事業

(令和4年度)

事業内容	用排水施設整備	農道整備
件数	12	5
市負担額	5,401千円	6,237千円

(3) 国庫補助事業**(ア) 団体営事業**

(令和4年度)

事業内容	かんがい排水	ほ場	集落排水
件数	3	2	3
市負担額	5,050千円	700千円	44,000千円

(イ) 県営事業

(令和4年度)

事業内容	かんがい排水	ほ場	農道	農地防災
件数	6	6	2	6
市負担額	10,638千円	24,764千円	29,250千円	226,611千円

園芸センター

福井市の農業は稲作が主体であるが、都市近郊としての立地条件を生かし野菜、花卉、果樹の園芸作物の振興を図るため園芸技術の普及・支援を行ってきた。

また、国の農業施策に呼应しながら消費者ニーズを的確にとらえ将来を展望した園芸作物の栽培試験、特産ブランドの開発など、地域に適応した作物の園芸振興促進のため、産地の育成・指導等に力を入れてきた。

◎施設の概要 総面積2.46ha 圃場面積0.48ha (令和5年4月1日現在)

名 称	構 造	棟 数	面 積
本館（作業場含）	鉄骨平屋建て	1棟	1,168 m ²
堆肥・農機具格納庫舎	〃	1	172
温 室	鉄骨アルミ製	11	2,988
ビニールハウス	鉄パイプ製	22	2,435
屋外トイレ	鉄筋コンクリート	1	21

令和5年度主要事業計画の概要

1 試験研究事業

(1) 野菜に関する試験

- ①銀福すいか後継品種の開発（雑種第8・9代）
- ②金福すいか及び銀福すいか栽培環境測定試験
- ③金福すいか3倍体（種なし）種子の選抜
- ④金福すいか4倍体（3倍体の親種）種子の選抜
- ⑤きゃろふく根色固定化、根形選抜試験
- ⑥アスパラガスの品種比較試験

(2) 果樹に関する試験

- ①梅の病害対策（3年目）
- ②黒系ブドウの発色不良改善対策
- ③三里浜砂丘地のオリーブ栽培における品種比較試験
- ④オリーブの施肥試験
- ⑤オリーブ大苗育成の効率化検討試験

(3) 花卉に関する試験

- ①ユーカリの仕立て方の検討
- ②白色ハボタンの節間調整方法の検討
- ③越前水仙圃場改良試験
- ④越前水仙土壌改良の省力化試験

2 実証栽培事業

(1) 野菜

- ①金福すいか・銀福すいか
- ②きゃろふくニンジン
- ③ディノケール
- ④ミディトマト
- ⑤スイートコーン
- ⑥アスパラガス

(2) 花卉

- ①アスター
- ②菊（夏～冬咲き）
- ③ハボタン
- ④原種系水仙
- ⑤宿根草各種
- ⑥ユーカリ

(3) 果樹栽培

- ①ナシ
- ②カキ
- ③ウメ
- ④ブルーベリー
- ⑤イチジク
- ⑥ブドウ
- ⑦モモ
- ⑧オリーブ

3 特産物の産地育成事業

(1) 産地育成技術指導及び生産者支援

- ① 金福すいか、銀福すいかの特産化推進
- ② サラダのヒロインきゃろふくの特産化
- ③ ディノケールの普及
- ④ 水田園芸の推進
- ⑤ 野菜・花卉生産者の育苗受託支援、現地技術指導
- ⑥ 越前水仙の現地技術指導
- ⑦ オリーブの普及
- ⑧ 果樹栽培の普及、現地技術指導
- ⑨ 園芸相談
- ⑩ 土壌分析や病虫害の診断
- ⑪ SNS を活用した情報発信

(2) 新規就農技術支援講座

座学・実技研修

市特産品（金・銀福すいか、きゃろふく、ディノケール、ブドウ等）

(3) 育成体験講座

「オリーブ大苗作り体験」（市内の小学生や中学生を対象）

4 花と緑の普及事業

(1) 家庭園芸の普及、各種講座、講習会など

- ① 園芸講習会 年間講座 6回
- ② その他講座（不定期） J A、農業団体等からの要請により講師として職員を派遣
- ③ 園芸相談 来園者による直接の相談、電話、メールによる相談など

(2) 花と緑の環境づくり

- ① 春・夏花壇用苗の供給 (対象：公民館 約 53,000 本)
- ② 即売会協賛 市民憲章推進協議会 4月
- ③ フェニックスプラザ・フラワーハウスへの鉢花供給

中央卸売市場

福井市を中心に福井県の生鮮食料品等の集配拠点市場として、卸売市場法に基づき昭和49年10月7日農林水産大臣の認可を受けて開設したものである。この中央卸売市場は、生鮮食料品等の取引の適正化とその生産及び流通の円滑化を図り、もって市（県）民の生活安定を目的としており、生鮮食料品等の取引及び荷さばきに必要な諸施設並びに駐車場を完備し、法及び業務条例等に基づき市の指導監督のもとに的確な集荷と公正な卸売業務を行っている。

1 施設概要

【所在地】	福井市大和田1丁目101番地		
【敷地面積】	140,198㎡		
【構造】	鉄筋、鉄骨2階～3階、塔屋4階		
【着工】	昭和48年1月	【完成】	昭和49年9月
【工費】	36億円		

2 中央卸売市場のしくみ

(1) 開設者／福井市

市場施設の維持管理、市場の運営にあたり、法律・条例・規則に基づいて指導監督を行っている。また、卸売業者・仲卸業者の業務を検査し、毎日の入荷量や価格などの市場統計情報を市民に知らせる者。

(2) 卸売業者／集荷・販売代行機関、青果部1社、水産物部1社、花き部1社

全国各地の出荷者から生鮮食料品等の販売の委託を受け（買付けをする場合もある）、これをせり売り、入札売り又は相対売りで仲卸業者や売買参加者に販売し、出荷者から決められた手数料を受け取る者。

(3) 仲卸業者／評価・分荷機関、青果部13社、水産物部4社、花き部1社

せり売り、入札売り又は相対売りに参加して、卸売業者から買い取った生鮮食料品等を市場内の店で、売買参加者や買出人に細かい単位に分けて、販売（相対売り）する者。

(4) 売買参加者／評価・小売機関、青果部184人、水産物部178人、花き部41人

小売商、加工業者、大口消費者のうち、卸売業者のせり売り、入札売り又は相対売りに参加できる資格を持ち、市場外で主として一般消費者へ販売する者。

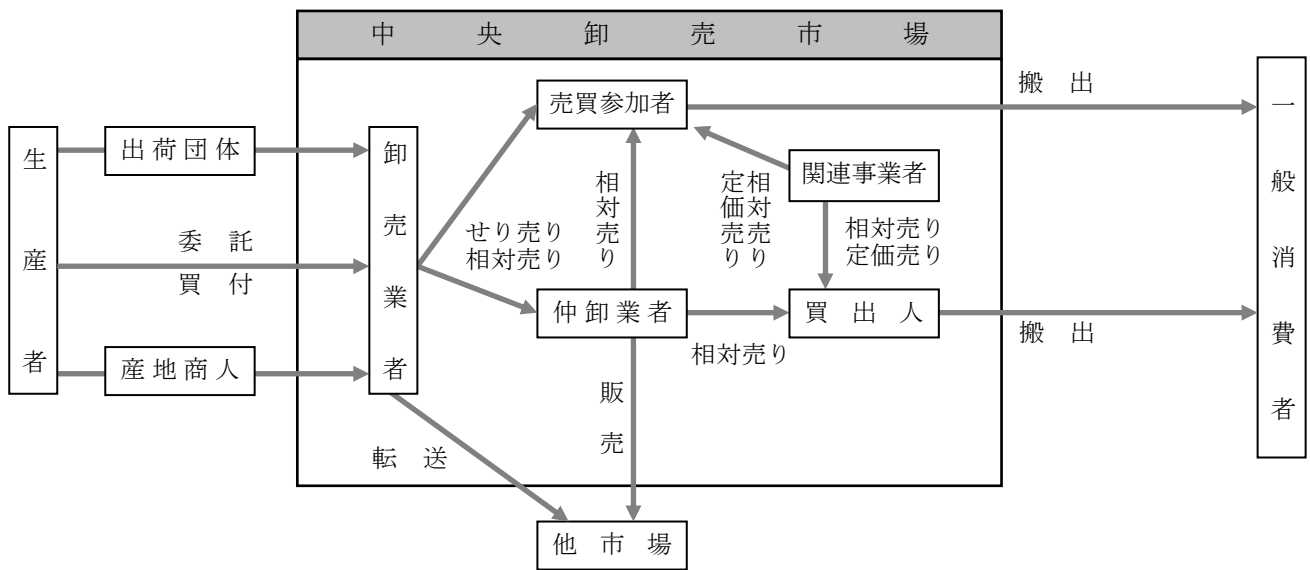
(5) 関連事業者／市場機能の充実及び市場利用者へのサービス機関56社

開設者の許可を受けて、市場機能を補完するため又は市場を利用する人達の便益を図るため、市場内の店舗、その他の施設において営業している者で、関連商品、冷蔵庫業、飲食業などを営む者。

(6) 買出人／小売機関等、青果部62人、水産物部110人、花き部47人

小売商、加工業者、大口消費者のうち、仲卸業者から生鮮食料品等を購入している者。

3 流通の経路



4 取扱高

年度	青果部		水産物部		花き部		総取扱高
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
R2	t	千円	t	千円	千本	千円	千円
	26,640	7,841,304	7,871	7,932,245	6,282	442,908	
R3	24,522	7,208,088	7,473	8,144,162	6,495	496,554	15,848,804
R4	23,161	6,991,670	6,601	8,246,791	6,150	535,209	15,773,670

5 1日あたりの取扱高

区分	青果部	水産物部	花き部
数量	92t	22 t	29 千本
金額	27,635 千円	27,217 千円	2,549 千円

